

「今後の物流政策の基本的な方向性等について」に関する審議の中間取りまとめ ～新たな価値を生み出す物流の未来に向けて～のポイント

直面する課題等

○ 物流を取り巻く変化への対応の必要性

◆人口減少・少子高齢化・労働力不足

- 物流分野は中高年層への依存度が高く、今後、深刻な人手不足に陥るおそれ。（トラック事業では就業者の37%が50歳以上）人材の確保・育成と物流の省労働力化が必要。
- 人材確保のためには、荷主との適正取引の推進等を通じた労働条件や就業環境の改善が必要。
- 過疎地等では、配送効率が大幅に低下。

◆国際競争の激化

- 海外との熾烈な競争の下、アジアの物流需要の成長を取り込み、アジア物流圏全体の効率化を進めていく必要。

◆荷主・消費者ニーズの高度化・多様化

- 国際競争の激化やネット通販の拡大、貨物の小口化の進行等により、物流の更なる高度化・効率化へのニーズが高まる。

◆技術革新

- あらゆるものがインターネットに接続するIoT時代が到来し、様々な産業で「第四次産業革命」への動きが活発化。

◆災害リスクの高まり

- 首都直下地震や南海トラフ地震の30年以内発生確率は70%。自然災害による物流網の寸断は、資源・エネルギーや食料等の供給停止等地域経済に大きな影響。

◆地球環境問題・エネルギー制約

- 地球温暖化対策やエネルギーセキュリティの観点から、物流分野の温室効果ガス排出量の削減は重要な課題。（国内CO₂排出量の17%は運輸部門）

○ 諸計画の承継と深化の必要性

- ①効率的な物流 ②環境にやさしい物流 ③災害に強い物流

○ 物流の将来像を明確にし、中長期の物流政策を確立する必要性

物流政策の方向性

潜在的輸送力を最大限に引き出す

社会資本の
ストック効果の最大化
物流システムの更なる高度化

新たな連携で課題解決力を強める

関係者間の連携
- パートナーシップの構築 -
国民へのPR
- 企業・国民の理解と協力 -

明確で前向きな
物流の将来像の
構築と発信

具体的な取組例

賢く使って生産性向上

モーダルシフトの更なる展開

低床貨車の実用化による背高海上
コンテナの鉄道輸送可能区間の拡大

トラック輸送の更なる効率化

ETC2.0を活用した
道路を賢く使う取組の確実な推進

都市内物流マネジメントの促進

大都市の活力をさらに高める 円滑な物流の確保

都市鉄道等の旅客鉄道の輸送力を
活用した貨物輸送の促進

面で効果を発揮する物流施設

物流施設の機能強化・ 災害対応力の向上

物流事業の生産性向上に資する
物流施設の整備促進

サービスの共同化・複合化で 地域を支える

過疎地等における持続可能な 物流ネットワークの構築

公共交通事業者の輸送力を活用した
貨客混載等サービスの共同化・複合化

物流政策の方向性を踏まえた主な取組

潜在的輸送力を最大限引き出すとともに、新たな連携で課題解決力を強める観点から、次のような施策を推進していく必要がある。

広域物流

モーダルシフトの更なる展開・トラック輸送の更なる効率化 ストックの有効活用

- ・ 貨物鉄道の輸送障害発生に備えた対応の強化・体制構築
- ・ 大型コンテナの取扱駅拡大に向けた設備等整備促進
- ・ 低床貨車の実用化による背高海上コンテナの鉄道輸送可能区間の拡大
- ・ ETC2.0を活用した道路を賢く使う取組の確実な推進 等

地域物流

大都市の活力をさらに高める円滑な物流の確保

- ・ 物流に関するエリアマネジメントの促進
- ・ 円滑で効率的な物流を十分に考慮した建築物の設計・運用
- ・ 都市鉄道等の旅客鉄道の輸送力を活用した貨物輸送の促進 等

過疎地等における持続可能な物流ネットワークの構築

- ・ 「小さな拠点」を核とした新たな輸送システムの構築
- ・ 公共交通事業者の輸送力を活用した貨客混載等サービスの共同化・複合化
- ・ 自家用車等を活用した有償貨物運送
- ・ 地域関係者の合意形成・実行に関する体制整備 等

物流ネットワーク 物流施設

物流施設の機能強化・災害対応力の向上

- ・ 物流事業の生産性向上に資する物流施設の整備促進
- ・ 物流施設、物流ネットワークにおける災害対応力の強化 等

主要な取組施策例①

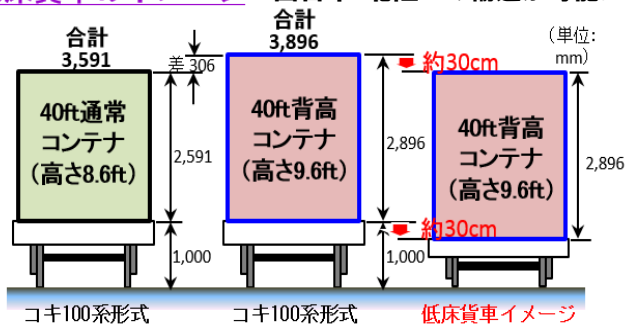
モーダルシフトの更なる展開

低床貨車の実用化による背高海上コンテナの鉄道輸送可能区間の拡大

■背高コンテナの輸送可能区間



■低床貨車のイメージ～西日本・北陸への輸送が可能に～



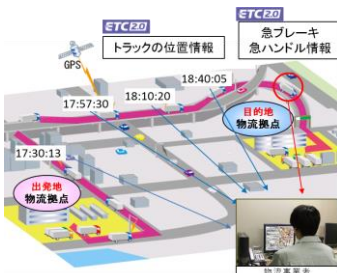
トラック輸送の更なる効率化

ETC2.0を活用した道路を賢く使う取組の確実な推進

高速道路の分担率引き上げによる道路ネットワーク全体の最適利用

(高速道路の分担率 アメリカ:33%,ドイツ:31%,フランス:30%,日本:16%)

ETC2.0を活用した物流管理



ETC2.0装着車の特車許可を簡素化

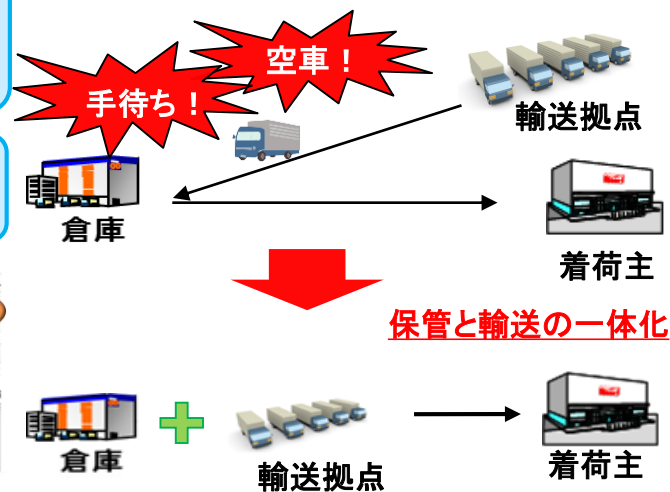


更なる革新的な技術の積極導入により道路を賢く使う世界のトップランナーへ

物流施設の機能強化・災害対応力の向上

物流事業の生産性向上に資する物流施設の整備促進

＜輸送と保管の連携が図られた倉庫のイメージ＞



輸送拠点の併設、又はトラック予約システムを備えることで空車や手待ち時間を解消する。これにより、
 ①輸送フローの効率化
 ②生産性の向上を実現する。

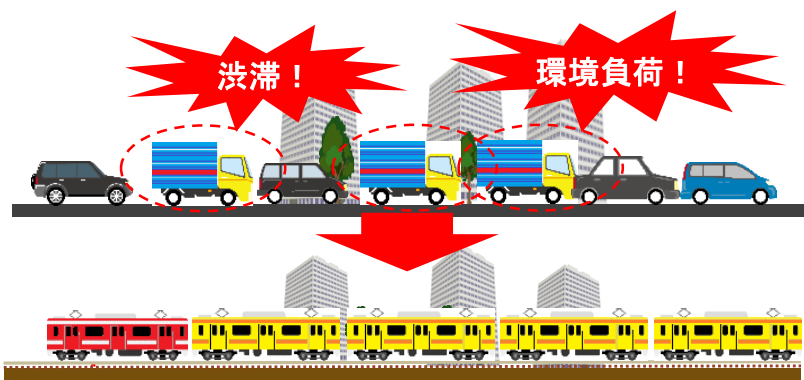
賢く使って生産性向上

面で効果を発揮する物流施設

主要な取組施策例②

大都市の活力をさらに高める 円滑な物流の確保

都市鉄道等の旅客鉄道の輸送力を 活用した貨物輸送の促進



トラックの代わりに都市鉄道等の旅客鉄道を貨物輸送に利用する。これにより、

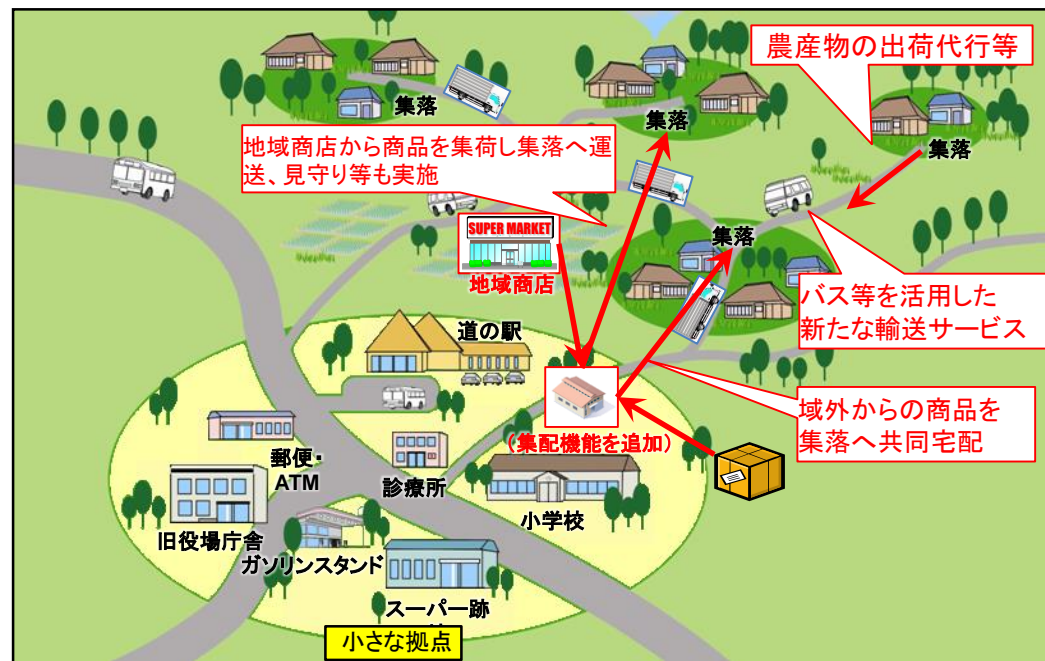
- ① **CO₂の排出量削減**
- ② **トラックドライバー不足対策**
- ③ **定時性・スピード性**に優れた貨物輸送を実現する。



都市内物流マネジメントの促進

過疎地等における持続可能な 物流ネットワークの構築

公共交通事業者の輸送力を活用した 貨客混載等サービスの共同化・複合化



サービスの共同化・複合化で地域を支える